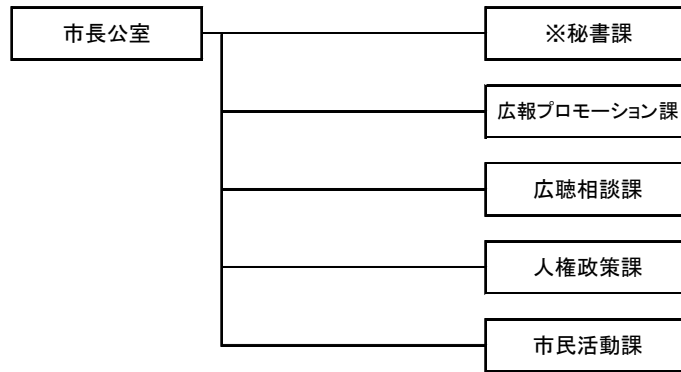


市長公室 所管事務の概要



秘書課

- (1) 市長及び副市長の秘書に関すること。
- (2) 市長及び副市長の指示事項の連絡調整に関すること。
- (3) 市長会等に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。

広報プロモーション課

- (1) 広報活動に関すること。
- (2) 報道機関との連絡に関すること。
- (3) シティプロモーションの推進に係る企画、立案及び調整に関すること。
- (4) ふるさと納税に関すること。

広聴相談課

- (1) 行政相談、法律相談その他の市民相談に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
- (2) 広聴活動に関すること。
- (3) 行政相談委員に関すること。

人権政策課

- (1) 人権・同和施策に係る総合調整に関すること。
- (2) 非核平和事業に関すること。
- (3) いじめ防止対策の推進に関すること。
- (4) いじめを受けた児童等の相談、支援等に関すること。
- (5) 人権擁護委員に関すること。
- (6) 男女共同参画施策の企画及び調整に関すること。
- (7) 人権尊重のまちづくり審議会、男女共同参画推進審議会及びいじめ問題再調査委員会に関すること。

市民活動課

- (1) 住民自治の振興に関すること。
- (2) 市民間の共助意識の啓発に関すること。
- (3) 市民活動の支援及び地域住民団体の活動の支援の総括に関すること。
- (4) 市民憲章に関すること。
- (5) 特定非営利活動法人の設立の認証等に関すること。
- (6) サプリ村野NP0センターに関すること。
- (7) 市民参加及び市民との協働の推進に係る調査研究、企画、立案及び調整に関すること。
- (8) NP0活動応援基金支援審査会に関すること。

令和 6 年度主要施策の成果と課題

【広報プロモーション課】

1. 全庁的な情報発信力強化・効果的な広報の実践について

職員一人一人の情報発信力の強化を目的とし、令和 5 年度に市の情報発信の基本的な考え方となる情報発信ガイドライン「マインド編」と「スキル編」を作成した。令和 6 年度は、本ガイドラインを活用し全庁的な情報発信に係る意識の醸成を図るため、職員向けに情報発信研修を行った。また、「子育て・教育」に係る市の特徴的な取り組みやまちの魅力について組織横断的な体制のもと強力で PR するため、「だから、枚方」をキャッチコピーとして、広報紙や市ホームページ、SNS、市が所管しているデジタルサイネージなど多様な媒体を活用して発信するとともに、9 月の枚方市駅直結の複合施設ステーションヒル枚方の開業に合わせて京阪電車の中づり広告やドアステッカーなど 1 編成の車両広告をジャックする AD トレイン、京橋・淀屋橋駅構内のデジタルサイネージ、地域情報誌「まみたん」掲載記事やシティプロモーションサイトと連動したインスタグラム広告など新たな手段を用いた PR 施策を積極的に展開した。

2. シティプロモーションの推進について

市テーマソング「この街が好き」を通した取り組みとして、令和 6 年 10 月 15 日に淀川河川敷で開かれたひらかた万博イベント「きてね、枚方」内で「枚方への思い」とともに曲を披露する市民参加型のカラオケ大会を実施した。市 PR 大使や市民の方々にもパフォーマンスを披露していただき、同イベントには約 6,000 人の観覧があった。イベントを通じて、市民が自らプロモーションの担い手となることで、まちへの愛着を深めることを目指すとともに、市外の人々には枚方市への興味・関心を高める取り組みを進めた。そのほか、鹿児島県の小学校では「心に残るいい楽曲」との理由で市テーマソングが同校の夏祭りの合唱曲として使用されるなど市内外での市テーマソングの活用を進めた。

市のキャラクター「ひこぼしくん」を活用した PR では、7 月 6・7 日に市内の各所で開催される七夕イベントに、交野市のキャラクター「おりひめちゃん」と一緒に参加することで地域との交流を深めるとともに、本市観光交流課・T-SITE・ひらかたパークと連携してイベント周知の SNS 発信などを行い、市の魅力発信を積極的に行った。

また、そのほかシティプロモーションについては、市 PR 大使として新たにバレーボール選手 1 名に就任いただき、市の事業 PR へ協力いただくとともに、ひらかたプロデューサーズの広報紙やホームページへの出演、キャッチフレーズ「だから、枚方」をベースとしたシティプロモーションサイトの更新など、市の魅力発信に取り組んだ。

3. 広報紙面の充実について

枚方市駅周辺再整備特集として、令和 6 年 9 月にオープンした行政サービスフロアなどをさまざまな視点から継続的に取り上げ、市民の関心の高いテーマを特集で掲載した。また、大阪・関西万博を契機に市の魅力発信を行う独自の取り組み「ひらかた万博」や、万博開催年にあわせて令和 7 年 1 月号では、長きにわたり「未来」「科学」「社会」に挑戦してきた宇宙飛行士の毛利衛さんと市長との対談記事を掲載した。そのほか令和 6 年 4 月にリニューアルオープンした地域活性化支援センター「ひらっく」や開院 10 周年を迎えた市立ひらかた病院など、市の情報をタイムリーに特集記事として発信した。令和 6 年 11 月号では、高知県四万十市と友好都市提携 50 周年を記念して、お互いの広報紙面を交換し市の魅力を PR するなど、読者が読み物としても楽しめるよう魅力ある紙面づくりに取り組んだ。また、市として強力で情報発信を展開する「子育て・教育」に関する紙面企画「だから、枚方」の掲載も継続して行った。さらに、広報紙の情報を多くの人に広く伝えるため、10 か国語に対応する多言語アプリによる配信も継続した。

4. ふるさと寄附金の推進について

財源確保策として実施しているふるさと寄附金では、専用ポータルサイト「ふるさとチョイス」や「さとふる」、「楽天ふるさと納税」、「ふるなび」に加え、寄附窓口の拡大のため新たに「Amazon ふるさと納税」を導入するとともに、寄附金の募集や返礼品の提供に関して「ふるさと納税に係る指定制度」に基づく適切な運用を行った。

令和 6 年度においては、プロモーション業務委託事業者を公募し、インターネット広告等を活用した PR を強化した。さらに民間副業人材マッチング企業の協力を得て公募・選定した専門的知見を持つ副業人材をアドバイザーとして登用し、PR 施策の分析や EC サイトの特性、既存返礼品の見せ方などのアドバイスをもらうとともに、一部の既存返礼品の画像の改善に取り組んだ。また、返礼品協力事業者の新規登録を 16 社増やし、令和 6 年に枚方市駅前にオープンしたカンデオホテルズを含む市内の宿泊施設等で利用できる楽天トラベルクーポンや屋内アスレチック施設「トンデミ」の施設利用券、スーツ仕立券、枚方のたけのこを使ったメンマなど多彩な品目を追加した。こうした取り組みにより寄附金額は令和 5 年度と比較して約 5,683 万円増加した。

5. 企業版ふるさと寄附金の推進について

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取り組みを推進するための財源確保策として令和 4 年度から「枚方市まち・ひと・しごと創生基金」を設置し、企業版ふるさと寄附金の獲得に向けた取り組みを進めている。

寄附募集については、企業に効果的な働きかけを行うため、重点的に寄附を募る事業を抽出し、企業訪問による寄附獲得に努めた。また、より効率的な企業版ふるさと寄附金の獲得に向け、寄附マッチング事業者に対して業務委託を行い、更なる寄附獲得の推進を図った。さらに民間副業人材マッチング企業の協力を得て公募・選定した専門的知見を有する副業人材をアドバイザーとして登用し、アドバイザーからの助言に基づき、働きかける企業の選定やダイレクトメ

ールおよび電話での働きかけを行い、寄附企業の新規開拓につなげた。こうした取り組みにより寄附金額は令和5年度と比較して約400万円増加した。

【広聴相談課】

1. 市民相談について

相談担当職員による「生活相談」では、相続に関する相談が1,552件、以下離婚576件、家庭問題492件、近隣問題399件、金銭貸借(個人)388件で、この5つの相談が全体の55.3%を占めている。

専門相談員による「専門相談」のうち、法律相談が1,232件で75.9%を占めている。法律相談以外の相談が392件で、登記相談144件、交通事故相談121件、成年後見相談49件、遺言書・内容証明作成相談60件であった。

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度に生活相談および交通事故相談のオンライン相談を開始し、令和4年度には弁護士と認定司法書士による法律相談を追加、令和6年度は登記相談まで対象を拡大した。令和6年度の総件数は、7,781件であった。

2. 市民の声事業について

市民からの意見や要望等を受け付ける「市長への提言」については、関係部署や関係機関に速やかに連絡し、回答等の調整を行っている。

「市長への提言」として対応した件数は29件で、提言の趣旨とそれに対する市の考え方を要約し、個人が特定できないよう処理を行ったうえで、市ホームページ等で公表を行った。また人事課と連携し、職員研修の具体事例として情報提供を行い、提言回答の質の向上を図った。この他、收受時に迅速な対応が求められるもの等について、意見のトリアージを実施し、「問い合わせ」として対応した件数は311件であった。

スマートフォンで地域の危険箇所等を現場写真や位置情報付きで市に通報する「災害等通報システム」については、272件の通報を受けて、対応状況をホームページで公開している。

3. 各種アンケート及びパブリックコメント制度について

市ホームページを活用した市民意見の聴取手法として、インターネットアンケートを2回実施し、延べ5件の意見を聴取したほか、市政モニターによるアンケートを実施し、平均85.5%の回答を得た。また、1回の回答ごとにひらかたポイントが10ポイントもらえるスマホアンケートを月1回実施した。スマホアンケートは、令和6年度も引き続き市公式LINEアカウントによる配信を行い、26,726件の回答を得た。

また、市の政策形成過程における透明性及び公正性の向上を図ることを目的とした、パブリックコメント制度による意見募集を6回実施し、延べ245件の意見を聴取した。

4. コールセンターの運用について

市民からのお問い合わせに際し、よくある質問にはオペレータが回答し、意見・要望を集約する「総合コールセンター」の管理・運用について、応答率95%以上、ワンストップ回答率45%以上という数値目標を設定しており、応答率は年間平均で97.8%、ワンストップ回答率は43.8%であった。6月の繁忙期ではワンストップ回答率47.7%を記録し、担当部署の負担低減に貢献した。また、新たに、音声自動応答装置やチャットボットを導入し、コールセンター業務の充実、効率化を図った。

【人権政策課】

1. 人権啓発事業について

人権啓発事業については、平成18年度から特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会へ委託を行い、講座等の開催を通じて、人権について考える機会を市民に提供している。

講座「生きること」では、様々な分野で活躍する方を講師に招いて連続講座(4回)を開催した。講座終了後には、講座内容を記録した冊子を作成し、講座内容を幅広く周知することにより、市民の人権意識の高揚を図るほか、人権文化セミナー(講演会)、北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業(パネル展)などを実施した。

なお、啓発事業を実施する際は、合理的配慮や参加しやすい環境を整える観点から、申込状況に応じて要約筆記・手話・保育・補聴システム・点訳資料・字幕を用意している。

2. 人権尊重のまちづくりに向けた取り組みについて

人権問題が多様化・複雑化していることや、令和6年3月に一部改正した「枚方市人権尊重のまちづくり条例」を踏まえ、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢を示すとともに、「枚方市人権尊重のまちづくり計画(計画期間:令和4年度~令和14年度)」により、人権尊重の視点をあらゆる施策に生かしていけるよう、全庁的な人権施策の推進を図っている。合わせて、市職員が人権についての正しい理解と認識を深め、さらなる人権意識の高揚を図ることを目的として、様々な人権問題に関する研修に取り組んだ。

3. 非核平和事業について

憲法のつどい、枚方市平和の日記念事業（平和フォーラム、平和の燈火等）、平和資料室特別展及び市内の戦争遺跡ウォーキングツアーなどの事業を実施し、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代の子どもたちに伝えとともに、市民に平和等について考える機会を提供した。事業実施の際に、平和の願いを込めた折り鶴を作成できる「折り鶴コーナー」を会場に設けた。

また、戦争の悲惨さや平和の尊さを次代に伝え、平和のために自分たちに何ができるかを考えてもらうきっかけを作るため作成した平和啓発冊子「平和のために私たちができること」を活用し、小中学校における総合的な学習の時間などで啓発を実施した。

4. 平和資料室について

次世代に広く平和の大切さを伝えるため、平成 18 年度から、中央図書館 1 階の平和資料室において、禁野火薬庫の爆発に関する写真パネル、及び市民などから寄贈を受けた戦争資料等の常設展示を行っている。平和資料室では夏季平和事業として、毎回テーマを設定してパネルやポスター等を掲示する特別展（2 週間程度）に取り組んでおり、令和 6 年度は、世界各地で戦争や紛争が続く中、平和について考えてもらうため、紛争地や辺境の地に生きる人々を取材してきた写真家・長倉洋海さんのパネル展を開催し、あわせて「フォトドキュメンタリー 鉛筆と銃 ―長倉洋海の眸（め）―」の特別上映とトーク会を行った。また、常設展の禁野火薬庫写真パネルの一部をリニューアルした。

5. 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会について

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、今日的な人権課題に適切に対応できる体制と「人権啓発」、「人権相談」、「自立支援」に関する施策を進めるため、行政、企業、団体、市民の参画により設立された。平成 18 年 3 月に特定非営利活動法人格を取得し、同年 4 月から本格稼働した。

本市の人権ケースワーク事業、男女共生フロア相談事業、地域就労支援事業、進路選択支援事業、人権啓発事業を委託するなど連携、協力し、人権施策の推進を図った。

6. 男女共同参画推進事業について

すべての市民が互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、「第 3 次枚方市男女共同参画計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 7 年度）に基づき、男女共同参画啓発事業及び DV 防止啓発事業を実施した。

身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ、女性の負担軽減につながる取り組みとして、市施設のトイレへの生理用品無償配置を拡大して実施したほか、女性を対象とした起業セミナーやセルフカウンセリング、更年期の基礎知識に関する講座や男性を対象としたコミュニケーション講座など、ジェンダーを背景とした様々な課題をテーマとした啓発講座を実施した。

相談事業については、引き続き、女性のための相談（電話・面接・法律）、男性のための電話相談を実施し、主に性別を理由とした悩みや困りごとの相談に対応した。

7. 性的マイノリティ支援事業について

平成 31 年 3 月に LGBT（レズビアン：女性の同性愛者、ゲイ：男性の同性愛者、バイセクシュアル：両性愛者、トランスジェンダー：体の性と心の性の不一致の人の頭文字を取った、性のあり方の少数者の総称）等の性的マイノリティの方を積極的に支援することを市が表明した「ひらかた・にじいろ宣言」を行い、平成 31 年 4 月 1 日からはパートナーシップ宣誓制度と LGBTQ+ 電話相談窓口の運用を開始するとともに、同年 7 月より当事者や支援者が集い交流や情報交換を行う場としてコミュニティスペースを開設している。令和 6 年 11 月からはオンライン（チャット）相談を開設し、若年層などの利用促進に努めた。また、毎年度、新任課長及び新入職員を対象に LGBT 等の性的マイノリティの方に対する理解促進と職場内や市民に対しての適切な対応を学ぶために研修を実施するとともに、職員には ALLY（アライ=性的マイノリティの支援者）である事を表明できるシールを配布し、名札や窓口等への貼付を促している。

令和 4 年 9 月に大阪府内でパートナーシップ宣誓制度を実施している自治体と協定を締結し、転入出を伴う転居時における手続きについて、当事者の負担軽減を図ってきた。令和 6 年 4 月より京都府と兵庫県の自治体間の転入出についても負担を軽減できるよう広域自治体間連携を開始し、令和 6 年 11 月からは連携自治体の範囲を全国に拡大した。

8. ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）の防止啓発及び被害者支援の充実について

子どもたちを暴力の被害者にも加害者にもさせないために、若年層への防止啓発として教育委員会と連携し、市内小学校 9 校の 4 年生を対象にした「DV 予防教育プログラム」、中学校 8 校において「デート DV 予防教育プログラム」を実施した。また、若年層を対象にしたデート DV 防止ハンドブックを希望する市内中学校に、チャットでも相談できる DV 相談プラスのコードを記載したデート DV 啓発カードを市内の高等学校に配布した。

DV 被害者への適切な支援を行うため、大阪府女性相談センター、警察署、消防組合、本市の関係部課等を構成員とする枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議において情報共有を行うとともに、「強圧的コントロールの理解」をテーマとした支援者研修を実施した。

潜在的な DV 被害者の救済にもつながるよう、広報ひらかたや SNS、ステーションヒル枚方内にあるデジタルサイネージにより、ひらかた DV 相談室を始めとする相談窓口を周知した。また、DV の原因の一つであるジェンダーに関する啓発講座を実施するとともに、女性に対する暴力をなくす運動期間（令和 6 年 11 月 12 日～25 日）には、懸垂幕の設置や平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップ、啓発グッズを配布し啓発を行った。

9. いじめ対策事業について

市では、いじめを市全体の問題としてとらえ、市長部局においてもいじめ防止対策に取り組むこととしている。令和5年7月からいじめ相談窓口を人権政策課に開設し、電話、メール、面談、手紙等で相談を受けている。いじめの未然防止を啓発する内容等を記載した「いじめお手紙相談用紙」を市立小中学校の児童・生徒へ学期に1回程度配付するとともに、9月には「いじめ未然防止啓発月間」懸垂幕を設置し、いじめ問題の未然防止の取り組みを行った。また、教育委員会との連携等を行う会議を月1回以上開催するなど、いじめ対策の総合的な推進を図った。

【市民活動課】

1. コミュニティ活動の支援について

安全・安心で魅力あるまちづくりを推進し地域住民の連携を促進するため、44校区コミュニティ協議会に対し校区コミュニティ活動補助金を交付するとともに、地域が主体的かつ継続的に取り組む活動に対して支援する「地域づくりデザイン事業」について、3団体に補助金を交付した。

2. 自治会館建設等助成事業について

自治会活動の拠点である自治会館の建設や改修等に対する助成について、改修7件、耐震改修1件、土地賃借1件を対象とした。

3. 市民活動の支援について

さまざまな分野における市民活動の拠点として、平成13年、サプリ村野内にひらかたNP0センターを開設した。その後、平成25年4月に、一時利用室、長期利用室、貸しロッカー等を備えた、サプリ村野NP0センターとしてリニューアルオープンし、NP0や市民団体等の利用に供している。

また、市内でのボランティア活動を通じて、社会に貢献している個人及び団体を対象に、日々の活動の労をねぎらい、今後の活躍に期待するとともに、広く社会一般にボランティア精神の浸透を図ることを目的とするボランティア表彰について3団体、22人を表彰した。

4. NP0活動支援事業について

特定非営利活動を活性化し、その健全な発展を支援するため枚方市NP0活動応援基金を平成20年3月に創設した。この基金は、社会貢献を考える市民や法人等からの寄附金を積み立て、公共サービスの新たな担い手であるNP0法人（特定非営利活動法人）へ補助するもので、令和6年度は3団体に補助金を交付した。

5. 特定非営利活動法人の設立の認証等について

特定非営利活動法人の設立認証等の事務が、平成25年1月より大阪府から権限移譲され、法人の設立認証等に関する相談業務と設立認証、設立後の法人に対する事業報告書受理等の事務を開始した。令和6年度は、定款変更認証2件、事業報告書等の受理100件、解散届出受理6件などの処理を行った。

6. 市民憲章の普及啓発について

市民自らの創意による都市建設の理念と等しく守るべき市民道徳、生活規範を確立すべきだと志を同じくする市民の手により昭和46年に制定された枚方市民憲章について、市ホームページにその内容を掲載するとともに、市民活動課窓口で啓発用ポケットティッシュを配布する等の普及啓発を図った。

7. 協働によるまちづくりの推進について

協働のまちづくりを推進する取り組みとして、ひらかた市民活動支援センターと連携し、行政とNP0との意見交換会を1回開催したほか、協働の意識を醸成するための職員研修を実施した。

令和 6 年度事務概要

【秘書課】

(1) 各種負担金執行状況

(単位：円)

名称	負担金執行額	備考（出席状況等）
全国市長会	1,286,000	総会 1 回、理事・評議員合同会議 4 回、社会文教委員会 4 回、市長フォーラム 1 回
近畿市長会	295,000	総会 1 回
大阪府市長会	529,000	定例会 4 回、町村長会合同会議 2 回
木曜会	24,000	9 回
その他会議	32,000	教育再生首長会議参加費、北方領土返還運動推進大阪府民会議会費
計	2,166,000	

(2) 交際費執行状況

(単位：件、円)

月	件数	執行額	月	件数	執行額
4 月	3	32,000	10 月	10	128,664
5 月	3	15,597	11 月	10	98,350
6 月	4	47,000	12 月	9	112,000
7 月	3	28,000	1 月	18	212,788
8 月	3	24,000	2 月	3	30,500
9 月	4	42,546	3 月	4	69,500
			計	74	840,945

【広報プロモーション課】

(1) 市民向け広報の状況

① 「広報ひらかた」の発行

市政の情報をより具体的にわかりやすく伝える広報活動の中心的な役割を果たしている。

発行回数	通常号：月 1 回で年間 12 回
サイズ	通常号 A4 判（カラー刷り）
ページ数	通常号：48 ページ（12 回）

〔注〕有料広告の掲載。

- ・自主財源を確保し、発行経費を軽減するとともに、地域商工業の活性化や市民生活の向上に繋げていくことを目的に、平成 17 年 8 月から「広報ひらかた」に有料広告を掲載している。
- ・令和 6 年度の年間広告料収入は 9,246,888 円。

② 「広報ひらかた」の配布

広報紙の配布は業者委託で行っている。

〔広報ひらかたの発行部数等〕

(単位：部、円)

年間発行部数	年間印刷経費	年間配布委託料
2,295,200	66,147,664	26,102,898

③ 点字・録音広報の発行

視覚に障害のある市民を対象に、「広報ひらかた」を点字・録音版にして送付している。

〔点字・録音広報制作数等〕

(単位：部、人)

区 分	規 格	年間延制作数	送付人数(月平均)
点字広報	B5判(200枚程度)	96	8
録音広報	CD	401	33

④ 市ホームページの運営

インターネットを利用したホームページを設置して市政情報を提供しており、平成18年10月16日から有料広告を掲載している。

年間ユーザー数 3,341,540件 年間バナー広告料収入 692,800円

⑤ デジタルサイネージによる情報放映

広報手段を拡充するため、市内に設置しているデジタルサイネージにて市政情報を放映している。

1. 庁内：6台(本館1階：2台、別館1階：1台、2階：3台)
2. 庁外：10台(市役所本庁：1台、3支所：各1台、ラポールひらかた：2台、KTM河本工業総合体育館：2台、昌栄工務店ひらかた渚体育館：1台、誠信建設工業伊加賀スポーツセンター：1台)

〔令和6年度市政情報モニター〕

(単位：種類、回)

	コ ン テ ン ツ 数	放 映 回 数
1	129	3,690
2	160	9,623

〔注〕広報プロモーション課で把握している範囲で集計

(2) 市民参加の広報活動

機関紙づくり講習会は、市民活動の促進を図ることを目的として校区コミュニティ協議会などを対象に機関紙づくりの基礎を職員が指導していたが、参加団体の減少などから出前講座による実施に一本化した。また、同講習会で使用していたテキストを更新し、市ホームページで公開することで、対象団体のスキルアップに寄与した。機関紙づくりに関する成果発表の場として毎年開催している機関紙コンクールは、同コンクール表彰式内での講評を機関紙づくりに役立つミニ講座として拡充した。なお、同コンクールにおいても応募団体の減少が顕著なことから、部門や賞の数を見直した。

〔令和6年度機関紙コンクールの参加団体〕

(単位：団体)

団 体 区 分	団 体 数
コミュニティ・自治会部門	14
PTA・サークル部門	9
計	23

(3) パブリシティ(情報提供)の充実

広報活動の一環として、枚方記者クラブや地域誌等に、行政情報、まちの話題等の資料提供を行っている。令和6年度の提供件数は延べ114件であった。

(4) ふるさと寄附金寄附実績

① 月別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
4月	270	7,691,000
5月	336	8,939,000
6月	546	11,606,000

	件数	寄附金額
7月	413	11,989,500
8月	361	8,384,000
9月	737	18,464,000
10月	657	17,089,000
11月	1,438	51,304,000
12月	4,324	120,495,600
1月	263	8,535,200
2月	264	5,971,200
3月	460	10,776,800
計	10,069	281,245,300

〔注〕個人からの寄附

② ふるさと寄附金推進事業対象基金別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
NPO 活動応援基金	79	1,699,000
東部地域里山保全基金	187	4,659,600
花と緑のまちづくり基金	243	7,270,900
安心安全基金	366	6,157,000
環境基金	225	5,656,500
福祉基金	466	13,942,400
こども夢基金	1,639	43,809,300
子どもに本を届ける基金	558	11,940,600
動物愛護基金	574	13,531,000
文化財保存活用基金	220	4,069,000
地域経済活性化基金	97	1,914,800
ひらかた万博推進基金	59	1,390,800
枚方宿地区賑わい創出基金	67	1,347,000
財政調整基金	5,286	163,477,400
その他	3	380,000
計	10,069	281,245,300

〔注〕個人からの寄附

(5) 企業版ふるさと寄附金寄附実績

月別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
4月	-	-
5月	-	-
6月	2	10,298,000
7月	-	-
8月	1	1,000,000
9月	-	-
10月	-	-
11月	1	1,000,000
12月	1	1,500,000
1月	-	-
2月	1	8,074,000
3月	3	5,117,028
計	9	26,989,028

〔注〕企業からの寄附（非公表分を除く）

【広聴相談課】

(1) 市民相談業務実施状況

① 種類別件数

(単位：件)

相談種別		件数
生活相談		6,157
専門相談	法律相談	1,232
	その他相談	392
計		7,781

〔注〕法律相談は、複数項目の相談あり。

② 受付形態別件数

(単位：件)

受付種別		件数
生活相談	対面	2,057
	電話	4,100
	オンライン	－
専門相談	対面	1,521
	電話	93
	オンライン	10
計		7,781

③ 内容別件数

(単位：件)

種別	内容	件数
生活相談	相続	1,552
	遺言	139
	登記	234
	成年後見	92
	離婚	576
	家庭問題	492
	近隣問題	399
	不動産	360
	借地・借家	126
	金銭貸借（個人）	388
	金銭貸借（業者）	1
	交通事故	145
	消費生活	123
	損害賠償	110
	刑事・民事暴力	18
	心の健康	73
	労働	103
	その他一般	753
	国関係	10
	府関係	7
	市関係	430
	市の専門相談	4
	その他機関の相談	22
	計	6,157

種別	内容	件数
専門相談	借地関係（借方）	7
	借地関係（貸方）	5
	借家関係（借方）	28
	借家関係（貸方）	18
	不動産問題	120
	金銭貸借	158
	離婚	105
	損害賠償請求	43
	戸籍	－
	家庭問題	34
	遺産相続	451
	扶養料請求	8
	刑事事件	7
	交通事故問題	7
	慰謝料請求	23
	その他	218
	計	1,232
	交通事故	121
	国の行政	5
	登記	144
	遺言書・内容証明作成	60
	人権	2
	成年後見	49
	民事調停手続き	11
	計	392

合計	7,781
----	-------

(2) 「市民講座」実施状況

(単位：人)

実施日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
5月30日	「オレオレ詐欺などの特殊詐欺対策や被害救済」	弁護士 荻野数馬	ラポールひらかた	37
10月31日	「『相続』を『争族』にしない生前の対策」	弁護士 井阪博	ラポールひらかた	29

〔注〕大阪弁護士会と共催。

(3) 行政相談週間行事「行政と暮らしの一日相談所」実施状況

(単位：件)

項 目	担 当 者	件 数	開催日・場所
国 の 行 政 相 談	行 政 相 談 委 員	3	10月19日 ラポールひらかた 大研修室
人 権 相 談	人 権 擁 護 委 員	-	
法 律 相 談	弁 護 士	12	
登 記 相 談	司 法 書 士 土 地 家 屋 調 査 士	10	
遺 言 書 等 作 成 相 談	行 政 書 士	3	
不 動 産 相 談	不 動 産 鑑 定 士 宅 建 士	3	
税 金 相 談	税 理 士	9	
相 続 ・ 成 年 後 見 相 談	司 法 書 士	5	
民 事 調 停 手 続 き 相 談	調 停 委 員	1	
年 金 ・ 社 会 保 険 ・ 労 働 相 談	社 会 保 険 労 務 士	1	
マ ン シ ョ ン ト ラ ブ ル 相 談	マ ン シ ョ ン 管 理 士	2	
そ の 他 相 談		-	
計		49	

(4) 「市民の声事業」実施状況

① 受付形態別件数

(単位：件)

受付種別	件 数	受付種別	件 数	受付種別	件 数
来 庁	1	ファックス	-	郵 送	-
電 話	-	提言はがき	3	Eメール	25
				合 計	29

② 対応等部署別件数

(単位：件)

部署名	件数	部署名	件数	部署名	件数
危機管理対策推進課	1	介護認定給付課	1	環境事業課	2
人権政策課	1	障害企画課	1	公園みどり課	5
企画課	1	障害支援課	2	交通対策課	1
人事課	1	子ども青少年政策課	2	教育政策課	1
契約検査課	1	私立保育幼稚園課	1	放課後子ども課	3
文化生涯学習課	2	ひらかた子ども発達支援センター	1	上下水道財務課	1
スポーツ振興課	2	保育幼稚園入園課	5	合 計	37
健康福祉政策課	1	環境政策課	1		

〔注〕・1案件につき複数の部署での対応あり。

- ・対応等を依頼した部署のみ記載。
- ・令和6年度の部署名を記載。

③ 災害等通報システム

(単位：件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
23	23	28	35	24	22	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
22	7	18	19	16	35	272

(5) インターネットアンケート実施状況

(単位：件)

	項目	部署名	実施期間	意見数
1	「枚方市地域福祉計画（第5期）素案」について	健康福祉政策課	12月3日～12月22日	5
2	「令和7年度枚方市食品衛生監視指導計画（案）」について	保健衛生課	2月5日～2月27日	-

〔注〕令和6年度の部署名を記載。

(6) パブリックコメント制度による意見募集実施状況

(単位：件)

	項目	部署名	実施期間	意見数
1	「枚方市市街化調整区域における地区計画のガイドライン（改定案）」	都市計画課	12月6日～12月25日	-
2	「枚方市教育振興基本計画（見直し案）」	教育政策課	12月6日～12月25日	7
3	「枚方市総合交通計画（改定）（素案）」	土木政策課	12月6日～12月25日	183
4	「＜改定＞第2次枚方市空家等対策計画（案）」	住宅まちづくり課	12月6日～12月25日	1
5	「枚方市子ども・若者総合計画（案）」	子ども青少年政策課	12月12日～1月8日	42
6	「枚方市児童の放課後を豊かにする行動計画（案）」	放課後子ども課	12月12日～1月8日	12

〔注〕令和6年度の部署名を記載。

(7) 市政モニター実施状況

(単位：人)

実施期間	項目	部署名	回答者数	登録者数
第1回 7月16日～ 8月2日	わくわくする公園整備に関するアンケート	公園みどり課	460	518
	市民意識に関するアンケート	企画課	436	518
第2回 9月11日～ 9月27日	新しい市役所本庁舎の整備に関するアンケート	市駅周辺まち活性化部	449	517
	枚方市の文化芸術に関するアンケート	文化生涯学習課	430	517
第3回 11月27日～ 12月13日	枚方市の自転車活用に関するアンケート	土木政策課	445	517
	市総合コールセンターに関するアンケート	広聴相談課	432	517

〔注〕令和6年度の部署名を記載。

(8) スマホアンケート実施状況

(単位：件)

実施月	項目	部署名	意見数
4 月	マイナンバーカードについて	保険年金課	2,789
5 月	特殊詐欺について	危機管理政策課	1,569
6 月	わくわくするような公園について	公園みどり課	1,417
7 月	食中毒について	保健衛生課	1,767
8 月	検診（健診）等の受診や歯と口の健康について	健康づくり課	2,588
9 月	健康づくりについて ひらかた万博について	健康づくり課 政策推進課	2,248
10 月	行政相談について	広聴相談課	2,594
11 月	たばこについて	保健医療課	3,089
12 月	子どもを守る条例について 災害について	子ども青少年政策課 危機管理対策推進課	2,559
1 月	観光について	観光交流課	2,717
2 月	市民憲章について 平和の日について リユースについて	市民活動課 人権政策課 循環型社会推進課	1,448
3 月	広報について	広報プロモーション課	1,941

〔注〕令和6年度の部署名を記載。

(9) コールセンター運用状況

(単位：件、%)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
外線着信数 (うち IVR 着信件数)	17,086 (一)	19,589 (一)	36,396 (13,529)	23,395 (4,377)	19,310 (4,307)	19,417 (4,644)
応 答 件 数	16,677	19,076	21,577	18,621	14,800	14,550
応答率	97.6	97.4	94.4	97.9	98.6	98.5
ワンストップ回答率	36.6	46.1	47.7	45.0	42.7	42.5

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
22,838 (5,457)	19,300 (4,523)	18,748 (4,114)	18,780 (4,011)	18,844 (4,833)	20,316 (5,446)	254,019 (55,241)
16,963	14,532	14,481	14,617	13,873	14,682	194,449
97.6	98.3	99.0	99.0	99.0	98.7	97.8
44.0	44.0	46.7	43.4	43.5	41.3	43.8

〔注〕音声自動応答装置（IVR）は6月12日より導入。

【参考】ダイヤルイン着信件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着信件数	70,433	63,576	137,282	99,289	67,072	71,363

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
88,601	77,272	62,787	83,198	88,283	88,641	997,797

【人権政策課】

(1) 人権施策推進事業

① 講座「生きること」

(単位：人)

開催日	テーマ	講師	参加人数
9月25日	ろうとLGBTQの交差から「多様性」を考える	ろう LGBTQ を支援する団体 「Deaf LGBTQ Center」 代表 山本 芙由美	45
10月9日	強くなくても…支えていただいた79年 ～29年間のカウンセリング活動で教えていただいた 宝もの～	中央労働災害防止協会認定 「心理相談員」松尾 秀人	63
10月16日	ケアと自分の人生 ～もっと知ってほしい、子ども・若者ケアラーの こと～	立命館大学衣笠総合研究機構 (人間科学研究所) 補助研究員/YCARP 発起人 河西 優	46
10月22日	「であい・つながり・げんき」が豊かなコミュニティ をつくる	箕面市人権協会 北芝地域協議会 会長 丸岡 康一	51

〔注〕・会場：ラポールひらかた大研修室

- ・枚方市（人権政策課・文化生涯学習課）、教育委員会（教育政策課）、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の共催。
- ・啓発記録冊子「生きること」の発行 1,000部

② 人権文化セミナー

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
11月7日	「あふれでたのはやさしさだった」 ～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～ 講演者：寮 美千子（作家・詩人）	総合文化芸術センター 別館 誠信建設工業メセナホール	84

〔注〕特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と共催。

③ 人権週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
12月6日	「ヤサシイハナヲサカセマシヨウ」 ～ネットの誹謗中傷をなくしたい～ 講演者：木村 響子 (NPO法人リメンバーハナ 代表理事)	総合文化芸術センター 関西医大 小ホール	76
12月9日	人権悩みごと相談（人権擁護委員による相談）	ラポールひらかた3階研修室1	－

〔注〕講演会については、枚方市（人権政策課）、教育委員会、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会、枚方地区人権擁護委員会、枚方事業所人権推進連絡会の共催。

④ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
12月6日	拉致問題を考えるパネル展・DVD「めぐみ」上映	総合文化芸術センター マルチスペース 1	20
12月10日	平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーリボン ライトアップ	岡東中央公園 平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）	...

〔注〕「拉致問題を考えるパネル展」は人権週間事業の講演会（12月6日）と同時開催。

⑤ 人権相談事業

「人権なんでも相談」（人権ケースワーク事業）を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託
相談件数 386 件

⑥ その他人権・同和問題事業

- ・ 人権、同和関係行政機関、諸団体と各種啓発活動等に参加
- ・ 枚方市人権擁護推進本部事務局
- ・ 北河内人権啓発推進協議会事務局
- ・ 世界人権宣言寝屋川・枚方・交野連絡会事務局
- ・ 枚方地区人権擁護委員会事務局
- ・ 枚方事業所人権推進連絡会事務局

⑦ 広報ひらかたによる啓発

人権に係る相談窓口等の案内 3 回（広報ひらかた 4・6・12 月号）

枚方市人権尊重のまちづくり基本計画周知のため、コラムを掲載 3 回（6・9・11 月号）

枚方市人権尊重のまちづくり条例の改正にあわせて 5 月号で特集記事掲載

⑧ 街頭啓発活動

(単位：人)

開催日	内 容	場 所	参 加 団 体	参加人数
6月6日	就職差別撤廃月間街頭啓発	枚方市駅	枚方事業所人権推進連絡会、枚方公共職業 安定所、枚方市、特定非営利活動法人枚方人 権まちづくり協会	13
12月6日	人権週間事業街頭啓発	枚方市駅 樟葉駅 長尾駅	枚方市、教育委員会、枚方地区人権擁護委 員会、枚方事業所人権推進連絡会、特定非営 利活動法人枚方人権まちづくり協会	39

⑨ 人権・同和・平和視聴覚教材（DVD）貸出状況

教材数	貸出件数	利用者数
3 本	2 件	151 人

(2) 非核平和都市宣言推進事業

① 妙見山煙突見学会

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
4月6日	戦争遺跡 妙見山煙突見学会	妙見山配水池内 (旧陸軍造兵廠香里製造所施設)	313
11月9日			87

〔注〕五常校区コミュニティ協議会と共催。

② 憲法のつどい

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月18日	・枚方第二小学校の児童による日本国憲法前文の朗読（動画上映） ・講演「絵本で子どもたちにつたえたいこと」 講師：長谷川 義史（絵本作家）	総合文化芸術センター 別館 誠信建設工業メ セナホール	195

③ 夏季平和事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
8月3日～ 8月15日	平和資料室特別展 「写真家 長倉洋海 小さなともだち」パネル展 ●8月7日「長倉洋海さんと語り合う会」開催	中央図書館 平和資料室	415
8月6日	平和ライブラリーコンサート 平和をテーマにしたトロンボーンアンサンブルコンサート 出演：Rin トロンボーンカルテット （枚方市アーティストバンク登録アーティスト）	中央図書館 エントランスホール	108
8月7日	平和資料室特別展 特別上映会&トーク 「フォトドキュメンタリー 鉛筆と銃ー長倉洋海の 眸（め）ー」	サンプラザ生涯学習市民 センター 視聴覚室	77

④ 市内の戦争遺跡ツアー

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
11月9日	市内の戦争遺跡ウォーキングツアー	市内の戦争遺跡	21

⑤ 3. 1「枚方市平和の日」記念事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
1月30日	「枚方市平和の燈火（あかり）」プレ事業 平和のちぎり絵制作	西牧野留守家庭児童会室	27
2月26日	「ひらかた平和フォーラム」 ・平和学習の紹介（動画上映・会場内で掲示） 開成小学校、田口山小学校、津田中学校 ・平和クイズに挑戦 大阪ブルテオンの選手と来場者全員 ・講演会「地球村の住民として」 講師：井本 直歩子 （元競泳日本代表・途上国教育専門家） ・トークセッション「スポーツは世界をつなぐ」 大阪ブルテオンの選手、井本直歩子（講演講師）、 枚方市平和の燈火実行委員の大学生	総合文化芸術センター 関西医大 大ホール	322
2月21日 ～3月6日	禁野火薬庫の爆発ミニパネル展	男女共生フロア・ウィル	...
3月1日	「枚方市平和の燈火（あかり）」 ・約3,000個のキャンドルを点灯 【実行委員による取り組み】 ・アート（平和の木）作成ブース、平和説明のブースを出 展、ペットボトルキャップの回収 ・プレ事業で制作した平和のちぎり絵を展示 ・立体造形物を展示 ・枚方市少年少女合唱団によるミニコンサートを開催	岡東中央公園	約1,100

⑥ その他

- ・ 平和啓発冊子「平和のために私たちができること」を事業開催時等に配布した。また、冊子の内容をデジタル化し、市内小学生が所持するタブレットにおいて閲覧できるデジタル副読本「わたしたちのまち枚方」内で公開している。
冊子配布数 978 冊
- ・ アメリカが令和 6 年 5 月 14 日に臨界前核実験を行っていたことについて、バイデン大統領宛ての抗議文（枚方市長名）をアメリカ大使館に送付した（5 月 20 日）。
- ・ 各非核平和関連事業の会場に「折り鶴コーナー」を設置し、来場者等に平和への願いを込めて鶴を折ってもらった。
集まった折り鶴は、千羽鶴にして長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典（8 月 9 日）へ届けた。

(3) 男女共同参画推進事業

① 男女共生フロア・ウィル事業

(a) 啓発冊子の発行

(単位：部)

冊 子 名	発 行 部 数
男女共同参画を目指す情報誌 「モアメイム」 26 号	2,000

(b) 男女共同参画週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
6 月 15 日	男女共同参画週間事業 ジェンダー知らなきやばい時代がやってきた ～男も女も生きやすい社会を目指して～	アルティシア （作家）	69	－

(c) 女性に対する暴力をなくす運動期間事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
11 月 18 日	知っておきたい！子育てにまつわるジェンダーの話	梶山 恵美 (NPO 法人 SEAN 教育部門 G-Free 副代表)	7	－

〔注〕 その他、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップを実施した（11 月 15 日・11 月 22 日）。

(d) 男女共同参画啓発事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
6 月 19 日	女性のための基礎から学ぶ起業セミナー① 起業の心構えと実例	川崎 ますみ（中小企業診断士）	24	－
6 月 20 日	女性のための基礎から学ぶ起業セミナー② 起業に必要なお金の話	高松 留美（中小企業診断士）	28	－
8 月 5 日	ウィル de クラフト① ペーパークラフト講座（親子向け）	図書館フレンズ、エッセイサークル文文	11	－
8 月 5 日	ウィル de クラフト② ペーパークラフト講座（一般向け）	図書館フレンズ、エッセイサークル文文	6	－
10 月 10 日	ウィル de シネマ「ミッション・マンガル」		166	－
10 月 11 日	ウィル de シネマ「ステージ・マザー」		174	－
11 月 16 日	男性のためのコミュニケーションスキルアップ講座～男性相談から学ぶ、今を生き抜く対話術～	濱田 智崇（京都橋大学総合心理学部准教授、公認心理師・臨床心理士）	16	－

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
11 月 25 日	母娘関係講座 ～グループで話してみませんか？～	小田切由里、木村由実 (フェミニストカウンセリング 堺)	7	1
12 月 4 日	マンガとジェンダー ～時代と共に変化するマンガの世界～	守 如子 (関西大学社会学部教授)	22	2
1 月 17 日	女性のための自分でできるカウンセリング	川喜多 好恵 (フェミニストカウンセラー)	26	-
1 月 30 日	再就職・転職・応援講座 (準備編) まるっとこどもセンター共催	ハローワーク枚方マザーズ担当職 員	11	5
1 月 31 日	再就職・転職・応援講座 (実践編) まるっとこどもセンター共催	ハローワーク枚方マザーズ担当職 員	9	2
2 月 7 日	ルッキズムを考える ～見た目って大事ですか～	大森 暁 (がんばらないトレーニ ングスタジオ Ninaru 主宰)	24	1
3 月 7 日	家族みんなで家事分担！ 子どもが自分で片付ける収納・片付けのコツ	中西 直美 (片付けアシスト Naro 代表)	24	5
3 月 15 日	ひらかたジェンダーしゃべり場	アルティシア (作家)	12	-
3 月 22 日	更年期・プレ更年期の基礎知識 ～プチ不調を乗り切ろう！～	秋田 浩子 (助産師)	18	2

(e) DV 防止啓発事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
5 月 18 日	DV 被害から回復するための教育プログラム わがままステーション	井ノ崎 敦子 (徳島大学)	4	2
7 月 20 日			3	1
9 月 28 日			4	1
11 月 16 日			1	-
1 月 18 日			3	1
1 月 25 日			4	1
3 月 15 日			4	-

(f) DV 予防教育プログラム

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
	わたしもぼくも☆みんな生き生き ＜対象＞小学生		
	＜実施校＞		
6 月 13, 14 日	香里小学校 (4 クラス)	特定非営利活動法人 SEAN	627
6 月 24 日	山田東小学校 (2 クラス)		
7 月 5 日	交北小学校 (2 クラス)		
8 月 29, 30 日	菅原小学校 (3 クラス)		
9 月 6 日	山田小学校 (2 クラス)		
9 月 10, 30 日	津田南小学校 (4 クラス)		
9 月 12 日	津田小学校 (2 クラス)		
9 月 13 日	殿山第一小学校 (2 クラス)		
9 月 19 日	西長尾小学校 (2 クラス)		

開催日	内 容	講 師	参加人数
6 月 20 日 7 月 1, 2 日 7 月 4 日 10 月 21, 23 日 10 月 28, 29 日 11 月 19, 20 日 1 月 17 日 2 月 10 日	対等な関係って?～デート DV について考えよう～ ＜対象＞中学生 ＜実施校＞ 桜丘中学校 (4 クラス) 楠葉中学校 (5 クラス) 中宮中学校 (4 クラス) 長尾西中学校 (5 クラス) 第四中学校 (6 クラス) 東香里中学校 (5 クラス) 楠葉西中学校 (4 クラス) 長尾中学校 (4 クラス)	特定非営利活動法人 SEAN	1,335

〔注〕教育委員会支援教育課との共催。

(g) 相談事業・情報提供（延件数）

（単位：件）

電話相談	面接相談	法律相談	男性相談（電話）
483	300	95	37

〔注〕特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託。

(h) 図書・情報コーナー

新規利用登録者	貸 出	
	図書・雑誌	AV 資料
41 人	328 冊	2 点

(i) 男女共同参画活動ルーム

登録団体	使用延件数	使用延人数
11 団体	64 件	557 人

② 枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかた DV 相談室」事業
DV（配偶者等からの暴力）相談等

（単位：件）

相談（延件数）		一時保護支援	保護命令申立支援	各種証明書発行
電話	面接			
998	266	4	1	117
1,264				

③ 性的マイノリティ支援事業

(a) パートナーシップ宣誓 6 組

(b) LGBTQ+ 電話相談 13 件

(c) LGBTQ+ チャット相談（11 月～3 月） 5 件

(d) コミュニティスペース

（単位：人）

開催日	内 容	ファシリテーター	参加延人数
毎月第 3 火曜日	ひらかた・にじいろスペース	特定非営利活動法人 QWRC	37

④ 男女共同参画推進本部研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
2月4日	ダイバーシティを実現するために～ジェンダー感覚をアップデート～	アルティシア（作家）	60

〔注〕対象者は男女共同参画推進本部員、男女共同参画推進本部幹事、希望する市議会議員。集合研修を行った。

開催日	内 容	講 師	参加人数
1月31日～ 3月14日	「ジェンダー知らなきゃヤバイ時代がやってきた～男も女も、生きやすい社会を目指して～」	アルティシア（作家）	119

〔注〕対象者は男女共同参画推進担当者、希望する職員。研修ストーリーミングシステムを使用した録画動画の配信を行った。

⑤ DV 関係機関連絡会議実務者研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
8月8日	強圧的コントロールの理解	増井 香名子（日本福祉大学 准教授）	30

⑥ 教職員研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
	教職員研修「わたしもぼくも☆みんな生き生き」～互いの「こころ」と「からだ」を大切にするために		
	＜実施校＞		
6月14日	香里小学校 27人	特定非営利活動法人 SEAN	212
6月24日	山田東小学校 4人		
7月5日	交北小学校 22人		
8月30日	菅原小学校 28人		
9月6日	山田小学校 20人		
9月10日	津田南小学校 40人		
9月12日	津田小学校 24人		
9月13日	殿山第一小学校 28人		
9月19日	西長尾小学校 19人		

〔注〕教育委員会支援教育課との共催。

⑦ 附属機関等における女性の比率

(単位：件、人、%)

	令和6年3月末					令和7年3月末				
	設置数	総委員数	女	男	女性比率	設置数	総委員数	女	男	女性比率
附属機関等	116(5)	1,168	426	742	36.5	115(6)	1,124	422	702	37.5
専門委員	8(1)	27	6	21	22.2	7(1)	16	5	11	31.3
行政委員会	6(1)	38	7	31	18.4	6(1)	36	6	30	16.7
全 体	130(7)	1,233	439	794	35.6	128(8)	1,176	433	743	36.8

〔注〕設置数欄の（ ）内の数字は女性委員のいない審議会等の数を表す。

(4) いじめ相談窓口

① 相談者延件数

(単位：件)

相談窓口		電話	面談	メール	手紙	計
件数		22	15	5	68	110
相談者	児童生徒	6	12	1	67	86
	保護者等	16	3	4	1	24

② 相談対象者別件数

(単位：件)

相談対象者別件数	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
	-	88	17	3	2	110

【市民活動課】

(1) 校区コミュニティ活動補助金交付事業

(単位：校区、円)

交付数	交付総額
44	52,583,179

(2) 地域づくりデザイン事業

申請者	区分	事業名称
菅原東校区コミュニティ協議会	継続	ホームページの運用によって様々な情報発信を目指す地域の ICT 化
枚方校区コミュニティ協議会	新規	バレーボールのまち「ひらかた」推進事業
樟葉西校区コミュニティ協議会	新規	芸術継承事業

(3) 自治会掲示板交付事業

(単位：枚)

交 付 先	交付枚数
須山町会、走谷自治会、長尾家具町2丁目自治会、東山一丁目町内会、小倉町自治会、あけぼの自治会、渚東町1区自治会、新上島町自治会、津田区(2枚)、茄子作西地区第4自治会、牧野本町西自治会、御殿山西自治会、中宮山戸町自治会、牧野共栄清香自治会、招提平野町自治会、長尾谷町けやき坂自治会、松丘町自治会、津田南町自治会、渚東町二区自治会、伊加賀栄町自治会	21

(4) 自治会館建設等助成事業状況

(単位：円)

助 成 区 分	助 成 先	助 成 額	自 治 会 館 所 在 地
改 修	天之川町内会	302,000	天之川町 2-26
	甲斐田町内会	3,000,000	甲斐田町 1-21
	北中振自治会	3,000,000	北中振 2-2-24
	翠香園町自治会	733,000	翠香園町 313-10
	出口自治会	2,100,000	出口 5-13-14
	中楠葉自治会	392,000	楠葉中町 62-13
	穂谷区	3,000,000	穂谷 3-3-10
	計 7 件	12,527,000	
耐震改修	北中振自治会	1,000,000	北中振 2-2-24
	計 1 件	1,000,000	
土地賃借	西牧野1丁目自治会	240,000	西牧野 1-20-22
	計 1 件	240,000	
合 計 9 件		13,767,000	

(5) 市民公益活動補償保険事業

市が保険契約を行い、5人以上の市民団体の公益的な活動中の事故について補償することにより、市民活動の振興と福祉の向上を図ることを目的とする。

〔市民公益活動補償保険報告状況〕

(単位：団体、件)

登録団体数	事故報告件数	内 訳	
		傷害保険	賠償責任保険
704	27	26	1

(6) ボランティア表彰事業

ボランティア活動を行っている団体や個人の労をねぎらい、今後の活躍を期待し促進するために市長表彰を行う。

(単位：団体、人)

被表彰者（団体）	被表彰者（個人）
3	22

(7) サプリ村野 NPO センター 各施設利用状況

① 一時利用室

(単位：件、%)

室 名	件 数	利用率
101	951	68.7
102	798	57.7
103	732	52.9
104	622	44.9
201	526	38.0
202	551	39.8
203	621	44.9
合 計	4,801	49.6

② 長期利用室

(単位：月)

室 名	利用月数
301	12
302	12
303	12
304	12
305	12
306	12
307	4

資 料 編

【広報プロモーション課】

(1) 広報ひらかた発行状況

(単位：部、ページ)

種別 号	広報ひらかた		点字版
	部 数	ページ数	部 数
5 月	190,900	48	8
6 月	190,900	48	8
7 月	191,100	48	8
8 月	191,300	48	8
9 月	191,400	48	8
10 月	191,400	48	8
11 月	191,400	48	8

種別 号	広報ひらかた		点字版
	部 数	ページ数	部 数
12 月	191,400	48	8
1 月	191,350	48	8
2 月	191,350	48	8
3 月	191,350	48	8
4 月	191,350	48	8
臨時号	-	-	-
計	2,295,200	576	96

〔注〕（参考）「ひらかた健康便利帳」が年 1 回、「社協だより」が年 4 回、「枚方市議会報」が年 6 回同時配布される。

CD 版

(単位：部)

号	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	臨時号	計
部数	33	33	33	33	33	33	33	33	33	34	35	35	-	401

〔注〕CD 版は毎月 10 日ごろ発行。

(2) ひらかたプロデューサーズ登録者数

令和 6 年度末までの累計登録者数は 227 人。

〔注〕平成 30 年 1 月から運用。

【広聴相談課】

(1) 市民相談件数

(単位：件、%)

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	件 数	増減率	件 数	増減率	件 数	増減率
生 活 相 談	5,713	8.9	6,147	7.6	6,157	0.2
専 門 相 談	1,674	12.2	1,608	▲3.9	1,624	1.0
計	7,387	9.6	7,755	5.0	7,781	0.3

(2) 「無料相談会」実施状況

(単位：件)

実施日	タイトル	主 催	会 場	件 数
8 月 3 日	司法書士による相談会 「相続・遺言」	大阪司法書士会	南部生涯学習市民センター	23
10 月 1 日	全国一斉不動産無料相談会	公益財団法人全日本不動産協会	京阪枚方市駅東改札口付近及びコンコース	3
10 月 9 日	民事及び家事問題の調停手続相談会	大阪民事調停協会・大阪家事調停協会	総合文化芸術センター別館	6
11 月 23 日	司法書士による説明会&相談会 「成年後見・相続・遺言」	成年後見センター・リーガルサポート大阪支部	ラポールひらかた	29
2 月 15 日	司法書士による相談会 「相続・遺言」	大阪司法書士会	枚方公園青少年センター	23
3 月 8 日	大阪府下一斉無料法律相談会	大阪弁護士会	枚方市役所別館 5 階 広聴相談課内	11

〔注〕市との共催による開催。